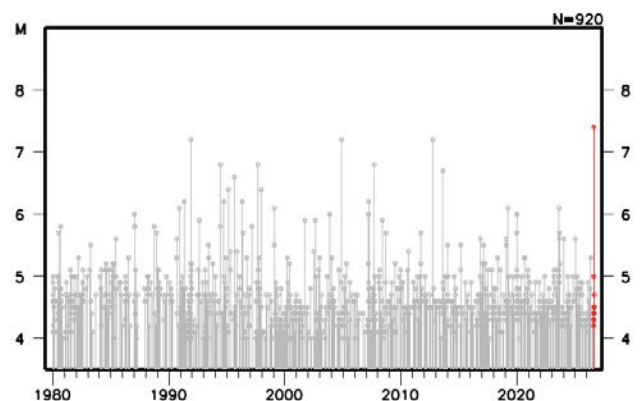
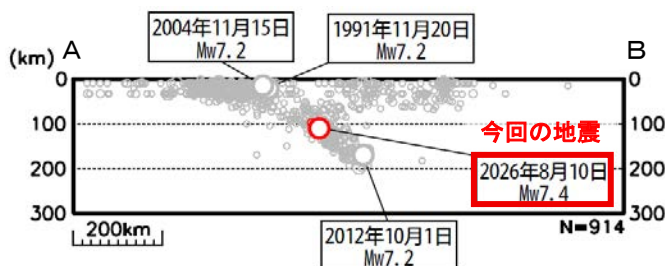
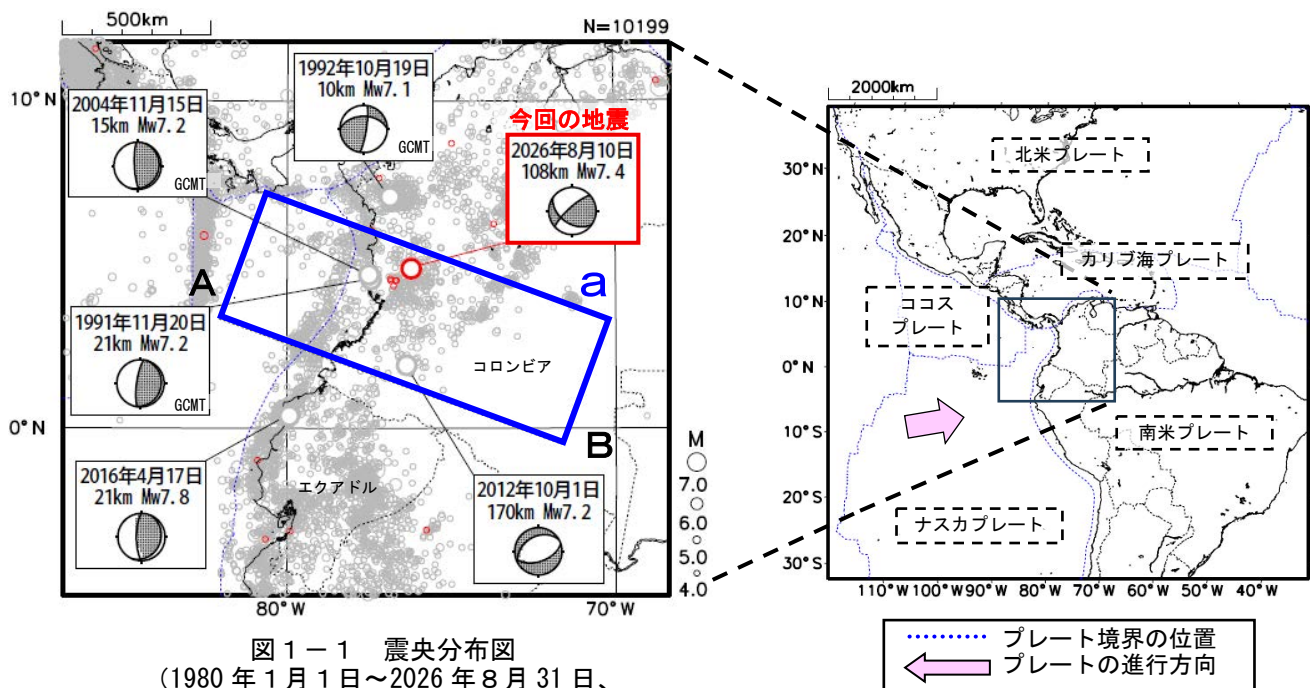


●特集 2026年8月10日 コロンビアの地震

（１）概要及び最近の地震活動（注１）

2026年8月10日21時34分（日本時間、以下同じ）にコロンビアの深さ108kmでMw7.4（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。気象庁はこの地震に対して、同日22時02分に遠地地震に関する情報（日本への津波の心配なし）を発表した。この地震により、コロンビアで死者329人などの被害が生じた（2026年8月28日現在）。

1980年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しており、ナスカプレート内部では、2012年10月1日にMw7.2（Mwは気象庁による）の地震が発生している。また、震源の深さの浅い、ナスカプレートと南米プレートの境界では、1991年11月20日にはMw7.2（MwはGlobal CMTによる）の地震が発生し、死者2人などの被害が生じた。また、2004年11月15日にもMw7.2（MwはGlobal CMTによる）の地震が発生し、負傷者14人などの被害が生じた。



（注１）震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2026年9月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwのうち、2012年10月1日の地震及び2016年4月17日の地震並びに今回の地震は気象庁によるCMT解、それ以外の地震はGlobal CMTによる(2026年9月1日現在)。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。
プレート境界の位置とプレートの進行方向の位置はBird(2003)*1より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries. *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.